

令和6年度国際交流センター主催留学プログラム内容及び成果

プログラム名称	留学先大学（国名）/ 派遣人数	派遣目的	期間	プログラム内容	成果 専修大学における単位認定数/単位付与者数	評価・単位認定方法
夏期留学プログラム	CIEオックスフォード（英国）/18名 ウーロンゴソソ大学（オーストラリア）/14名	語学研修や現地の人々との交流をとおして外国語運用能力を高めるとともに、留学先国の文化や歴史等を学ぶ	《CIEオックスフォード》3週間 令和6年8月6日（火）～ 8月29日（木） 《ウーロンゴソソ大学》4週間 令和6年8月6日（火）～ 9月7日（土）	【留学前】 <u>オリエンテーション（複数回実施）</u> 留学の心構えや趣旨・目的の確認、コースの研修内容、留学までの手続、準備等について理解する <u>事前研修</u> プログラムでの学習をより充実したものにするため、基礎的な語学力を身に着ける <u>海外安全セミナー</u> 海外での危機管理意識を高める 【留学中】 <u>語学研修</u> 留学先大学・研修校において所定のコースを受講する <u>プロジェクトワーク</u> SDGsをテーマとし、オックスフォード大学生と共に調査・プレゼンテーションを行う（CIEオックスフォードのみ） <u>インターンシップ</u> シドニーにてインターンシップを行い、海外での勤労観や職業観を養う（ウーロンゴソソ大学のみ） <u>異文化理解</u> 現地学生・講師及びホストファミリー等との交流をとおして留学先国の文化や歴史に対する理解を深める 【留学後】 <u>事後研修</u> 留学で学んだことや留学経験を今後どのように活かすか等について参加者が発表することによって、留学を振り返り、今後の目標を設定するための動機付けを行う <u>レポート提出</u> 現地での語学研修や生活をとおして得た成果をレポートにまとめる	2単位/29名	留学先大学発行の成績証明書に基づき評価・単位認定を行う
中期留学プログラム（前期）	ワシントン大学（米国）/1名 カルガリー大学（カナダ）/10名 ウーロンゴソソ大学（オーストラリア）/7名 ワイカト大学（ニュージーランド）/2名	実践的なコミュニケーション能力の習得に加え、大学の正規授業を受けるために必要なアカデミックスキル（プレゼンテーション、ノート・テイキング、リサーチ、論文の書き方等）や異文化について学ぶ	《ワシントン大学》5か月間 令和6年3月29日（金）～ 9月1日（日） 《カルガリー大学》3か月間 令和6年4月20日（土）～ 7月22日（月） 《ウーロンゴソソ大学》4か月間 令和6年4月5日（金）～ 8月19日（月） 《ワイカト大学》3か月間 令和6年4月19日（金）～ 7月21日（日）	【留学前】 <u>オリエンテーション（複数回実施）</u> 留学の心構えや趣旨・目的の確認、コースの研修内容、留学までの手続、準備等について理解する <u>事前研修</u> プログラムでの学習をより充実したものにするため、基礎的な語学力を身に着ける <u>海外安全セミナー</u> 海外での危機管理意識を高める 【留学中】 <u>語学研修</u> 留学先大学・研修校において所定のコースを受講する <u>異文化理解</u> 現地学生・講師及びホストファミリー等との交流をとおして留学先国の文化や歴史に対する理解を深める 【留学後】 <u>事後研修</u> 留学で学んだことや留学経験を今後どのように活かすか等をテーマに個別に留学先の言語でプレゼンテーションを行うことで、留学を振り返り、今後の目標を設定するための動機付けを行う <u>報告書提出</u> 学修成果や留学生活について報告書にまとめ、日本語及び留学先の言語で作成し、自らリフレクションを行う	14単位/1名 16単位/15名 18単位/4名	留学先大学発行の成績証明書に基づき評価・単位認定を行う

プログラム名称	留学先大学（国名）/ 派遣人数	派遣目的	期間	プログラム内容	成果 専修大学における単位認定数/単位付与者数	評価・単位認定方法
中期留学プログラム（後期）	ネブラスカ大学リカン校（米国）/ 1名 ワイク大学（ニュージーランド）/ 6名 上海大学（中国）/ 2名 檀国大学（韓国）/ 2名	実践的なコミュニケーション能力の習得に加え、大学の正規授業を受けるために必要なアカデミックスキル（プレゼンテーション、ノート・テイキング、リサーチ、論文の書き方等）や異文化について学ぶ	《ネブラスカ大学リカン校》4か月間 令和6年8月20日（火）～ 12月17日（火） 《ワイク大学》4か月間 令和6年8月4日（日）～ 12月1日（日） 《上海大学》4か月間 令和6年9月6日（金）～ 1月12日（日） 《檀国大学》5か月間 令和6年8月5日（月）～ 12月22日（日）	【留学前】 オリエンテーション（複数回実施） 留学の心構えや趣旨・目的の確認、コースの研修内容、留学までの手続、準備等について理解する 事前研修 プログラムでの学習をより充実したものにするため、基礎的な語学力を身に着ける 海外安全セミナー 海外での危機管理意識を高める 【留学中】 語学研修 留学先大学・研修校において所定のコースを受講する 異文化理解 現地学生・講師及び寮のルームメイト等との交流をとおして留学先国の文化や歴史に対する理解を深める 【留学後】 事後研修 留学で学んだことや留学経験を今後どのように活かすか等をテーマに個別に留学先の言語でプレゼンテーションを行うことで、留学を振り返り、今後の目標を設定するための動機付けを行う 報告書提出 学修成果や留学生活について報告書にまとめ、日本語及び留学先の言語で作成し、自らリフレクションを行う	4単位/1名 16単位/8名 18単位/2名	留学先大学発行の成績証明書に基づき評価・単位認定を行う
長期交換留学プログラム（第1期）	慶熙大学（韓国）/ 1名	協定校で現地学生と共に正規授業を履修することで、専門分野の知識を深める	《慶熙大学》10か月間 令和6年2月26日（月）～ 令和6年12月24日（火）	【留学前】 オリエンテーション（複数回実施） 留学の心構えや趣旨・目的の確認、留学までの手続、準備等について理解する 事前研修 留学先大学における正規授業の履修に備え、語学力を高める 海外安全セミナー 海外での危機管理意識を高める 【留学中】 正規授業の履修 留学先において正規授業を履修し、自身の専門分野の知識を深める 【帰国後】 報告書提出 学修成果や留学生活について報告書にまとめ、日本語及び留学先の言語で作成し、自らリフレクションを行う	16単位/1名	留学先大学で修得した科目の内容や成績評価に基づき、単位認定可否の審査を行う
長期交換留学プログラム（第2期）	オレゴン大学（米国）/ 2名	協定校で現地学生と共に正規授業を履修することで、専門分野の知識を深める	《オレゴン大学》10か月間 令和6年6月27日（木）～ 令和7年3月27日（木）	【留学前】 オリエンテーション（複数回実施） 留学の心構えや趣旨・目的の確認、留学までの手続、準備等について理解する 事前研修 留学先大学における正規授業の履修に備え、語学力を高める 海外安全セミナー 海外での危機管理意識を高める 【留学中】 正規授業の履修 留学先において正規授業を履修し、自身の専門分野の知識を深める 【帰国後】 報告書提出 学修成果や留学生活について報告書にまとめ、日本語及び留学先の言語で作成し、自らリフレクションを行う	※帰国後に単位認定手続き予定	留学先大学で修得した科目の内容や成績評価に基づき、単位認定可否の審査を行う

プログラム 名称	留学先大学（国名）/ 派遣人数	派遣目的	期間	プログラム内容	成果 専修大学における単位認定数/単位付与者数	評価・単位認定方法
セメスター 交換留学 プログラム	オレゴン大学（米国）/2名	協定校で現地学生と共に 正規授業を履修すること で、専門分野の知識を深 める	《オレゴン大学》3か月間 令和6年9月19日（木）～ 令和6年12月18日（水）	<p>【留学前】 オリエンテーション（複数回実施） 留学の心構えや趣旨・目的の確認、留学までの手続、準備等について理解する 事前研修 留学先大学における正規授業の履修に備え、語学力を高める 海外安全セミナー 海外での危機管理意識を高める</p> <p>【留学中】 正規授業の履修 留学先において正規授業を履修し、自身の専門分野の知識を深める</p> <p>【帰国後】 報告書提出 学修成果や留学生活について報告書にまとめ、日本語及び留学先の言語で作成し、自らリフレクションを行う</p>	※帰国後に単位認定手続き予定	留学先大学で修得した科目の内容や成績評価に基づき、単位認定可否の審査を行う
春期留学 プログラム	ワハト大学（ニュージーランド）/ 18名  慶熙大学（韓国）/19名  アリカテ大学（スペイン）/3名	語学研修や現地の人々との 交流をとおして外国語 運用能力を高めるととも に、留学先国の文化や歴史 等を学ぶ	《ワハト大学》4週間 令和6年1月31日（金）～ 3月2日（日）  《慶熙大学》3週間 令和6年3月4日（火）～ 3月26日（水）  《アリカテ大学》4週間 令和6年1月31日（金）～ 3月2日（日）	<p>【留学前】 オリエンテーション（複数回実施） 留学の心構えや趣旨・目的の確認、コースの研修内容、留学までの手続、準備等について理解する 事前研修 プログラムでの学習をより充実したものにするため、基礎的な語学力を身に着ける 海外安全セミナー 海外での危機管理意識を高める</p> <p>【留学中】 語学研修 留学先大学・研修校において所定のコースを受講する 異文化理解 現地学生・講師及びホストファミリー等との交流をとおして留学先国の文化や歴史に対する理解を深める</p> <p>【留学後】 事後研修 留学で学んだことや留学経験を今後どのように活かすか等について参加者が発表することによって、留学を振り返り、今後の目標を設定するための動機付けを行う レポート提出 現地での語学研修や生活をとおして得た成果をレポートにまとめる</p>	※帰国後に単位認定手続き予定	留学先大学発行の成績証明書に基づき評価・単位認定を行う

プログラム 名称	留学先大学（国名）/ 派遣人数	派遣目的	期間	プログラム内容	成果 専修大学における単位認定数/単位付与者数	評価・単位認定方法
東南アジア・スタディツアー	タイ商工会議所大学（タイ）/0名	協定校によるレクチャーをとおして東南アジア圏の社会・文化・歴史への理解を深めるとともに、現地学生との交流で異なる文化的背景を持つ他者との円滑なコミュニケーション能力を身に付ける	《タイ商工会議所大学》3週間 令和6年8月26日（月）～ 9月14日（土） ※オンライン研修： 8月26日（月）～8月28日（水） 海外渡航： 8月29日（木）～9月14日（土）	<p>【留学前】 <u>事前研修</u> プログラムでの学習をより充実したものにするため、基礎的な英語力を身に着ける <u>海外安全セミナー</u> 海外での危機管理意識を高める <u>オリエンテーション</u> 留学の心構えや趣旨・目的の確認、コースの研修内容、留学までの手続、準備等について理解する</p> <p>【留学中】 <u>語学研修</u> 協定校が実施する所定のコースを受講する（オンライン、海外渡航） <u>フィールドワーク</u> 歴史的な場所を訪問することで、タイの歴史や文化についての理解をより深める（海外渡航） <u>タイ国内の日系企業訪問</u> タイにおけるビジネス環境について学ぶ <u>異文化理解</u> 現地学生・講師等との交流をとおして留学先国の文化、歴史に対する理解を深める（海外渡航）</p> <p>【留学後】 <u>事後研修</u> 留学で学んだことや留学経験を今後どのように活かすか等について参加者が発表することによって、留学を振り返り、今後の目標を設定するための動機付けを行う <u>レポート提出</u> 現地での語学研修やフィールドワークをとおして得た成果をレポートにまとめる</p>	※応募人数が最少催行人数に満たなかったため、催行中止	帰国後に成果発表会を行い、国際交流センター長が留学成果を確認・評価する